

令和 7 年度白石市総合計画・総合戦略推進委員会

1 開催概要

- 日時 令和 7 年 9 月 4 日（木）午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 2 0 分
- 場所 白石市防災センター 2 階 会議室

2 委員

	区分	団体等名称・役職	氏名	出欠
1	産業	白石商工会議所会頭	朝倉 秀雄	
2	産業	白石市産業振興会議代表	佐藤 全	欠席
3	産業	白石市観光協会長	佐藤 善一	欠席
4	産業	白石市認定農業者	志村 竜生	欠席
5	教育	公立大学法人宮城大学事業構想学群教授	徳永 幸之	
6	教育	白石市校長会長	石川 裕之	
7	金融	七十七銀行白石支店長	高木 勇人	
8	金融	仙南信用金庫業務推進部業務推進課長	堀田 康郎	
9	労働団体	連合宮城仙南地域協議会白石地区会議事務局長	加藤 雅也	欠席
10	メディア	一般社団法人スポーツ・ラボ理事長	児玉 聡	欠席
11	士業	中小企業診断士	佐藤 勝幸	欠席
12	議会	白石市議会議員	佐藤 秀行	
13	学識経験	白石市歴史文化アドバイザー	麻生菜穂美	
14	学識経験	プランニング開代表・アトリエ自遊楽校主宰	新田新一郎	
15	学識経験	白石市移住交流コーディネーター	太斎 沙織	
16	地域組織	白石市自治会連合会長	紺野 澄雄	
17	地域組織	斎川公民館事務長	佐藤 幸枝	
18	子育て	白石刈田地区父母教師会連合会長	半沢 健太	欠席
19	子育て	子育て世代	大庭 知子	欠席

3 白石市出席者

	役職	氏名
1	市長	山田 裕一
2	副市長	村上 忠則
3	副市長	大庭 豪樹
4	教育長	半沢 芳典
5	総務部長	佐藤 純哉
6	総務部企画政策課長	高橋 雅美
7	総務部企画政策課長補佐	佐藤 弘子
8	総務部企画政策課	引地 昭憲

4 配布資料

(事前配布)

- ・ 次第・名簿・委員会の役割
- ・ 資料 1 第六次白石市総合計画・白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
令和6年度実施状況
- ・ 資料 2 第六次白石市総合計画 重点戦略・分野目標別指標 評価一覧
- ・ 資料 3 転入者アンケート集計結果
- ・ 資料 4 転出者アンケート集計結果
- ・ 資料 5 令和7年度の主な取組
- ・ 資料 6 白石市まち・ひと・しごと創生第3期総合戦略策定業務スケジュール
- ・ 資料 7 「地方創生 2.0 基本構想」(概要)
- ・ 資料 8 地方創生 1.0 と 2.0 の比較表

(参考)

- ・ 第六次白石市総合計画・白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略の概要
- ・ 白石市総合計画・総合戦略推進委員会 事前意見と市の考え

5 議事概要

○市長挨拶

本市では、第六次白石市総合計画、白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に基づき、計画に掲げる目標達成に向け、様々な事業を展開しているところである。

計画の進捗状況の確認と成果の検証を行うため、「白石市総合計画・総合戦略推進委員会」を設置し、本日は、令和6年度の実績等をご審議いただくこととしている。委員の皆様におかれましては、専門的知見をはじめ、普段の生活から感じていることなど、様々な角度からご提案、ご意見を賜りたい。

人口減少という大きな課題、特に、出生数の減少は極めて急激なペースで進んでいる。出生数の減少は、我が国全体が抱える大きな課題だが、国や県のみならず、様々な方々

と連携し、この課題を克服しなければいけないと考えている。

本市では、企業誘致に力を入れて取り組んでいる。また、新たな取組として、大学院大学の設置に向けて動いている。市民、企業、行政が一体となり、若い方々に選ばれる的を目指し、市の発展に取り組んでいけるよう、皆様のお力をお貸しいただきたい。本日は忌憚のないご意見を賜りたい。

○審議

(1)「第六次白石市総合計画」「白石市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」の令和6年度実施状況及び令和7年度取組について

事務局より、令和6年度実施状況は資料1・2、転入者アンケートは資料3、転出者アンケートは資料4、令和7年度の取組は資料5をもとに説明。また、委員からの事前意見と市の考えを説明。

【委員からのご意見等】

○ 白石への移住を希望しても、物件がないということや仕事の都合により、白石に住めないという方もいる。また、近隣市町では、公園の整備に合わせて、近くにある図書館等の整備を進めていることや、空き家政策に力をいれて取り組んでいるので、危機感を持っている。そういった状況を認識し、まちづくりを進めていただきたいと考える。

⇒ 空き家政策については、不動産業界との協力体制など、他自治体の好事例を参考に取組んでいきたい。また、図書館整備については、内部でも様々な検討をしている状況である。

○ 近隣市町村の動向もしっかり見ていく必要がある。また、新たな施設整備については、誰が、どのように施設を利用するかよく検討し、使い勝手、ロケーションなど検討していただきたい。

○ 総合計画の実績や今後の取組方針について、市役所内部で上層部だけでなく、全ての職員に周知し、理解することが重要である。また、市民へ取組や実績をしっかりと周知してほしい。

市内に居住物件が少ないということを聞いているが、例えば商店街の空き店舗や旅館の一室をリノベーションし、住居として提供できないか。

⇒ SNSやHPを活用した情報発信の強化を図っており、今後も積極的に情報発信に取り組んでいきたい。

物件が少ないという話は、様々なところから話を聞いている。不動産関係の方々と協力し、できることをやっていきたい。空き家は年々増加傾向にあり、課題であると認識している。空き家等の物件について、情報発信をしていきたい。

○ キッズランドについては、好評を得ているが、そこをきっかけにどのように市内へ来てもらうかという仕掛け・工夫が必要だと思う。移住・定住について、人が行きたい・住みたいと思えるようになるには、そこに住んでいる人が、自分の街に誇りを持っている、魅力を知っていることが必要だと思う。そういう意味でしっかりと魅力を発信していくことが必要である。

- 地区でも空き家が増えている。今後もさらに増加すると思われるが、セルフリノベーションをして移住した方もいる。そういったところで定住人口に繋げていけたら良いのではと思う。

防災訓練について、小中学生が参加するようになり、特に、中学生がその中で自ら役割を担い参加するというのは、非常に良い取り組みだと思っている。一方で、防災訓練については、地震を想定したものを実施しているので、水害・大雨災害を想定した訓練も実施してほしい。また、近年は猛暑が続いている。夏場の避難所を想定して、地区公民館にエアコンを設置することも検討してほしい。

- ⇒ 空き物件のリフォーム・セルフリノベーションは今ブームでもあるかと思う。そういったニーズに応じた物件を充実させることも一案かと思う。

大雨を想定した防災訓練については、重要であると考えているが、実施については様々な課題があるので、今後も検討していきたい。地区公民館へのエアコン設置については、設備面での問題もあり、難しい状況である。本年度、国の交付金を活用し、避難物資やスポットクーラーなどを整備する予定であるので、そちらを有効活用願いたい。

- ⇒ 小中学生については、実際に災害が起きた際に、守られるべき対象ではあるが、一方で、避難所運営等において、一定の役割を担える存在であるとも考えられる。社会の一員として活動すること、そして認められることは、子どもたちの自信・成長にもつながり、シビックプライドの醸成にも大きく寄与をすると思う。今後も、地区の方と各小中学校が連携しながら、防災訓練に参加していきたい。

- 薬師の湯について、10月で閉めるということだが、市としてどのように対応するのか。

- ⇒ 設備更新が難しいということもあり、温泉施設を10月末で閉鎖すると聞いている。薬師の湯では、生きがいデイサービスを実施しているが、本年度中は継続し、温泉については、小原温泉を利用できないかということで検討している。

(2) 白石市まち・ひと・しごと創生「第3期総合戦略」について

事務局より、資料6 白石市まち・ひと・しごと創生第3期総合戦略策定業務スケジュール、資料7「地方創生2.0基本構想」(概要)、資料8 地方創生1.0と2.0の比較表をもとに説明。

【委員からのご意見等】

- 地方創生を進めるためには、地方のすばらしさ、魅力、豊かさというものを、地元がしっかりと認識し進めないとなかなかうまくいかないと思う。そういう意識を若者に持ってもらうことが必要だが、そのためには、まず大人がその魅力に気づくことが重要であるので、しっかり取り組んでいただきたい。

- 首都圏等からの移住希望者もたくさんいると思われるので、白石市に興味を持っている方などにターゲット広告など効果的なPRを実施してもらいたい。

市民のシビックプライド醸成について、子どもたちへの情報発信はある程度進んでいるが、大人への情報発信が足りないと思う。SNSやHPを使って、白石の良いことをもっと情報発信すべきである。

- ⇒ 地方に住む良さは、地元の人たちが一番分かっているし、それを自慢できるようにな

らないとだめだと考える。しっかり市が市民に発信していくことが重要であると感じている。

(3) その他

事務局より、本日の内容について、9月中に市ホームページで公表する予定であること、今回の内容を庁内で共有し、事業の見直しや改善、新規事業の検討を行っていくこと、引き続き総合戦略の改定作業を行うことを説明。

○市長挨拶

長時間にわたり、数多くの貴重なご意見等を賜り感謝申し上げます。

本日いただいた数々のご意見は真摯に受け止め、今後の政策に反映していけるよう努力していきたい。白石のすばらしい魅力を発信し、住んでみたいと思ってもらえるような白石市を作っていきたいと考えているので、引き続き叱咤激励、またご意見を賜りたい。

(以上で閉会)